

藤間家の動植物

岸 一弘*

1 はじめに

藤間家は茅ヶ崎市(以下、市)南西部の柳島2-6-30外に所在し、敷地面積約4,844 m²の柳島を代表する旧家のひとつである。平成25(2013)年3月には敷地全体が市指定史跡となり、平成27(2015)年3月には住居であった主屋が国の登録有形文化財に登録された。そして、平成29(2017)年7月に上記の敷地のうち主屋等を含む約3,900 m²が市に寄付された^註。

筆者は、2016年6月以降寄付地(以下、当地)および周辺の状況把握の一環として動植物の調査を実施している。調査は継続中であるが、2019年1月現在で確認できている動植物について報告する。また、2017年4月6日に敷地内にあるニッケイの太径木について樹高等を測量しているので、併せて報告する。

2 藤間家と周辺地域の自然の概要

柳島地区は、主として相模川が運んできた土砂によって形成された沖積低地である。地区の北から北西にかけては、小出川が流れている。宅地化が進んでいるものの、市内南部の中では耕作地が比較的残っている地域である。当地の北側に位置する柳島八幡宮には、スダジイ、タブノキなどの太径木が見られる。

当地周辺の標高は、2m前後である。関東大震災で隆起したと言われているので、大震災前は標高1m前後だったものと思われる。敷地中央やや北寄りには、タブノキの太径木がある(写真1)。タブノキは在来種であるが、敷地中央やや北寄りに見られるこれらの株は東西方向に一直線に並んでおり、北風を避けるために屋敷林として植栽されたものと判断される。敷地の北側は、家屋と庭木が植栽されている南側に比べ一段低くなっている。現在はカキなどの植栽樹を始め、草本・木本類が生えているが、北西側には湿地性のオギが生育している(写真2)ので、かつては湿地環境だったことが推測される(図1)。当地寄付者の藤間克子氏のご教示によれば、かつては池があったとのことである。

3 調査日

動植物の調査日は、下記のとおりである。

2016年: 1月28日

2017年: 3月17日, 3月28日, 3月30日, 4月6日, 4月28日, 6月2日, 6月5日, 7月6日, 7月20日, 7月21日, 8月4日, 8月7日, 8月8日, 8月17日, 8月21日, 8月25日, 8月30日, 9月4日, 9月8日, 9月14日, 9月15日, 9月19日, 9月21日, 9月22日, 9月26日, 9月27日, 10月11日, 10月18日, 10月24日, 10月30日, 11月8日, 11月10日, 11月28日, 12月5日, 12月15日, 12月25日

2018年: 1月5日, 1月9日, 1月15日, 1月25日, 1月26日, 1月30日, 2月8日, 2月13日, 3月29日, 4月13日, 4月27日, 5月11日, 5月22日, 6月5日, 8月3日, 8月7日, 8月24日, 8月28日, 9月7日, 10月3日, 12月7日

2019年: 1月18日

2017年3月28日, 3月30日, 4月6日, 6月2日, 7月6日, 8月7日, 8月8日, 8月17日, 8月21日は1時間~1時間半程度の調査を実施したが、その他の日は調査以外の目的で現地を訪れた際の短時間調査の記録である。また、2017年9月15日には夜間調査を実施した。

[凡例]

1. 記録は、いずれも記録頭数、記録地(藤間家については割愛)、記録年月日、記録者の順に配列した。記録者名のないものは、岸による記録である。
2. 昆虫類の配列・学名は、神奈川昆虫談話会編(2018)に準拠した。

4 調査方法

目視のみで同定可能だった種類は現地で記録したが、写真撮影後、画像による同定を行ったものもある。必要に応じ採集を行い、昆虫類・鳥類については鳴き声により確認したものもある。

5 植物

江戸時代以降宅地として利用されてきたことか



図1. 藤間家敷地図

ら植栽された種類も多いが、かつての柳島地区の植生を彷彿とさせる種類が見られる。

2018年12月7日時点で確認されている在来種は50科94種、外来種は13科31種、計52科125種である(表1)。明らかに植栽された種を含めると、205種となる。在来種としては、コボタンヅル、アカメガシワ、カラスザンショウ、モクレイシ、エビヅル、タチツボスミレ、キカラスウリ、オヤブジラミ、カントウタンポポ、チガヤ(写真5)、オギ、カラスビシャク、ネジバナなどが確認されている。

特筆されるのは、モクレイシ *Microtropis Japonica* である。モクレイシは海岸近くに自生するニシキギ科の常緑広葉樹で、下記のとおり2017年に敷地南西側で1株確認された。地表近くから叢生しているので、一度伐採され、その後に再び生長したものと判断される。市内では、他に中島などで記録されているだけの稀な種である(長谷川義人, 2018; 平塚市博物館, 2001)。2018年には、タイサンボクの根際などで実生が確認され、柳島八幡宮付近の人家でも小木が2株確認された。

長谷川(2018)によれば、本種は「一般に沿岸の低

山中に生える」とされるが、前述したように沖積低地上の生育地であることは興味深い。

[モクレイシの記録]

1株確認, 28. III. 2017(写真3); 開花確認, 7. III. 2018; 実生6株確認, 23. III. 2018; 2株確認, 柳島・柳島八幡宮付近, 23. III. 2018.

茅ヶ崎市レッドリスト2017で、準絶滅危惧種に位置づけられているマメ科のタンキリマメ *Rhynchosia volubilis* も確認されている。

[タンキリマメの記録]

1株確認, 19. IX. 2017(写真4); 3株確認, 7. XII. 2018.

6 動物

1) 昆虫類

① トンボ目 Odonata

敷地内には発生水域がないため、記録されたのは外部から飛来したトンボ科の3種だけである。

[記録]

トンボ科 Libellulidae

1. シオカラトンボ *Orthetrum albistylum speciosum*

1♂目撃, 17. VIII. 2017; 1♂1♀目撃・1♂1♀死体目撃(ナガコガネグモ♀に捕食される), 21. VIII. 2017; 1♂1♀目撃, 30. VIII. 2017.

2. アキアカネ *Sympetrum frequens*

1♀目撃, 22. IX. 2017; 1♂目撃, 30. X. 2017; 1♂目撃, 7. XII. 2018.

3. ウスバキトンボ *Pantala flavescens*

8exs. 目撃, 8. VIII. 2017; 3exs. 目撃, 17. VIII. 2017; 1ex. 目撃, 28. VIII. 2018; 1ex. 目撃, 30. X. 2017.

上記のほか、岸(2018a)による2017年の目撃記録がある。

② チョウ目 Lepidoptera 蝶類

記録されたのは、5科26種である。

コムスジは、市内では北部丘陵地域には広く分布するものの、南部では稀な種類である。

各地で分布を拡大している南方系種は、ナガサキアゲハ、ムラサキツバメ、ツマグロヒョウモン、ク

ロコノマチョウの4種が確認された。外来種では、国の特定外来生物に位置付けられているアカボシゴマダラが確認された。

敷地内で発生が確認されたのは、アオスジアゲハ(タブノキ・ニッケイ)、アカボシゴマダラ(エノキ)の2種である。ルリシジミはミヤギノハギでの産卵、ヒカゲチョウはアズマネザサでの産卵を確認している。

[記録]

セセリチョウ科 Hesperidae

1. キマダラセセリ *Potanthus flavus flavus*

1ex. 目撃, 30. VIII. 2017 ; 1ex. 目撃, 21. IX. 2017 ; 1ex. 目撃, 5. VI. 2018 ; 1ex. 目撃, 28. VIII. 2018.

2. チャバネセセリ *Pelopidas mathias oberthuri*

1ex. 目撃(オッタチカタバミで吸蜜), 24. X. 2017.

3. イチモンジセセリ *Pantara guttata guttata*

3exs. 目撃(2exs. : ハマゴウで吸蜜), 17. VIII. 2017 ; 1ex. 目撃, 7. VIII. 2018.

アゲハチョウ科 Papilionidae

4. キアゲハ *Papilio machaon hipopocrates*

1♂目撃, 6. VII. 2017 ; 2♂目撃, 7. VIII. 2017 ; 2♂1♀目撃(1♂1♀ : 求愛飛翔), 17. VIII. 2017 ; 1♂目撃(ヤナギハナガサで吸蜜), 21. VIII. 2017 ; 1♂目撃, 26. IX. 2017 ; 1♂目撃, 7. IX. 2018.

5. アゲハ *Papilio xuthus xuthus*

1ex. 目撃, 6. IV. 2017 ; 3exs. 目撃(1ex. : 夏型), 2. VI. 2017 ; 2exs. 目撃, 6. VII. 2017 ; 1♀目撃(ヤナギハナガサで吸蜜), 17. VIII. 2017 ; 3♂2♀目撃(2♂1♀ : 求愛飛翔, 1♂1♀ : 交尾中), 26. IX. 2017 ; 1ex. 目撃, 29. III. 2018 ; 1ex. 目撃, 13. IV. 2018 ; 4exs. 目撃, 27. IV. 2018 ; 2exs. 目撃, 11. V. 2018 ; 1ex. 目撃, 5. VI. 2018 ; 1ex. 目撃, 28. VIII. 2018.

3月下旬に春型(1化), 6月上旬に夏型(2化)を確認している。いずれもかなり早い時期の記録であるが、温暖化の影響を受けているものと考えられる。

6. クロアゲハ *Papilio protenor demetrius*

1♂目撃, 28. IV. 2017 ; 1♂目撃(ザクロで吸蜜, 春型), 5. VI. 2017 ; 1♀1ex. 目撃, 6. VII. 2017 ; 2exs. 目撃 ; 2♂1♀目撃(1♀ : ヤブカラシで吸蜜), 30. VIII. 2017 ; 1♂目撃(ヤナギハナガサで吸蜜), 26.

IX. 2017 ; 1ex. 目撃, 11. X. 2017 ; 1♂目撃, 13. IV.

2018 ; 2exs. 目撃, 11. V. 2018 ; 1♂目撃, 22. V. 2018.

7. ナガサキアゲハ *Papilio Memnon thunbergii*

1♂1♀目撃, 30. VIII. 2017 ; 1♀目撃, 14. IX. 2017 ; 1♂1♀目撃(1♂ : やや破損), 26. IX. 2017.

8. アオスジアゲハ *Graphium Sarpedon nipponum*

3exs. 目撃, 28. IV. 2017 ; 1ex. 目撃, 2. VI. 2017 ; 1 卵目撃(タブノキ)・若齢 4exs. 目撃(ニッケイ)・3exs. 目撃, 6. VII. 2017 ; 1♂1♀目撃, 25. VIII. 2017 ; 1ex. 目撃, 26. IX. 2017 ; 1ex. 目撃, 11. X. 2017 ; 蛹 1ex. 目撃(タブノキ葉裏に蛹化), 8. II. 2018 ; 1ex. 目撃, 13. IV. 2018 ; 1ex. 目撃, 22. V. 2018 ; 2exs. 目撃, 7. IX. 2018.

シロチョウ科 Pieridae

9. キタキチョウ *Eurema mandarina mandarina*

2♂1♀目撃, 6. VII. 2017 ; 2♂目撃, 21. VIII. 2017 ; 1♂1♀目撃, 19. IX. 2017 ; 1♂目撃, 22. IX. 2017 ; 2♂目撃(1♂ : コセンダングサで吸蜜), 24. X. 2017 ; 1♀目撃, 8. XI. 2017 ; 1♂目撃(飛翔), 25. XII. 2017 ; 1♂目撃, 7. VIII. 2018 ; 1♂目撃, 28. VIII. 2018 ; 2♂目撃, 7. IX. 2018.

10. モンシロチョウ *Pieris rapae crucivora*

1♂1♀目撃(ハルジオンで吸蜜), 28. IV. 2017 ; 1♂目撃, 2. VI. 2017 ; 1♂目撃, 25. VIII. 2017 ; 1♀目撃, 21. IX. 2017 ; 1♂1♀目撃(1♂ : ツワブキで吸蜜), 24. X. 2017 ; 1♂目撃, 29. III. 2018.

11. スジグロシロチョウ *Pieris melete melete*

1♀目撃, 6. VII. 2017.

シジミチョウ科 Lycaenidae

12. ムラサキツバメ *Narathura bazalus turbata*

1ex. 目撃, 30. VIII. 2017.

13. ベニシジミ *Lycaena phlaeas daimio*

1ex. 目撃, 6. VII. 2017 ; 2exs. 目撃, 20. VII. 2017 ; 1ex. 目撃, 8. XI. 2017.

14. ウラナミシジミ *Lampides boeticus boeticus*

2exs. 目撃, 19. IX. 2017 ; 1♂1♀目撃(1♀ : ミツバオオハングンソウで吸蜜), 11. X. 2017 ; 1♂1♀目撃(1♂ : コバノランタナ, オッタチカタバミで吸蜜), 24. X. 2017 ; 1ex. 目撃, 7. XII. 2018.

15. ヤマトシジミ *Zizeeria maha argia*

1♂1♀目撃, 28. IV. 2017; 1♂1♀目撃, 2. VI. 2017;
; 7♂3♀目撃, 6. VII. 2017; 1♂1♀目撃(交尾中), 30.
VIII. 2017; 6♂目撃, 26. IX. 2017; 7♂5♀目撃(4♀:
オッタチカタバミで吸蜜), 24. X. 2017; 1♂目撃, 11.
V. 2018; 1♂目撃, 7. XII. 2018.

16. ルリシジミ *Celastrina argiolus ladonides*
2♂目撃, 28. III. 2017; 1♂1♀目撃(1♀: ミヤギ
ノハギで産卵), 2. VI. 2017; 1♀目撃, 22. V. 2018.

タテハチョウ科 Nymphalidae

17. ツマグロヒョウモン *Argyreus hyperbius*
1♀目撃, 21. VIII. 2017; 1♂1♀目撃, 22. IX. 2017;
1♂目撃, 11. X. 2017.

18. コミスジ *Neptis sappo intermedia*
1♀目撃, 6. VII. 2017(写真6); 2exs. 目撃, 17.
VIII. 2017; 1ex. 目撃, 21. VIII. 2017.

19. キタテハ *Polygonia c-aureum c-aureum*
1ex. 目撃, 17. VIII. 2017; 1ex. 目撃, 21. VIII.
2017.

20. アカタテハ *Vanessa indica*
2exs. 目撃, 18. X. 2017; 1ex. 目撃, 30. X. 2017;
1ex. 目撃, 3. X. 2018.

21. ヒメアカタテハ *Vanessa cardui*
1ex. 目撃(イエギクで吸蜜), 30. X. 2017.

22. アカボシゴマダラ *Hestina assimilis*
assimilis
1♀1ex. 目撃, 2. VI. 2017; 1♂目撃, 6. VII. 2017;
1ex. 目撃, 7. VIII. 2017; 1♀目撃, 30. VIII. 2017; 1
♂1♀目撃, 8. IX. 2017; 1♀目撃, 19. IX. 2017; 2 齢
1ex. 4 齢 1ex. 終齢 3exs. 目撃(エノキ)・1♂目撃, 26.
IX. 2017; 3 齢 1ex. 目撃(エノキ)・蛹 1ex. 目撃(エノ
キ葉裏), 11. X. 2017; 1ex. 目撃, 11. V. 2018.

もともと中国などに分布する亜種(名義タイプ亜
種)で, 日本では2018年に特定外来生物に指定され
ている。

23. ヒカゲチョウ *Lethe sicelis sicelis*
2♂目撃, 6. VII. 2017; 2♀目撃(アズマネザサで
産卵中), 26. IX. 2017; 1♂1♀1ex. 目撃, 11. X. 2017;
2♂1♀目撃, 5. VI. 2018.

24. サトキマダラヒカゲ *Neope goschkevitschii*
goschkevitschii

8exs. 目撃, 2. VI. 2017; 1ex. 目撃, 17. VIII. 2017;
3exs. 目撃, 21. VIII. 2017; 1ex. 目撃, 11. V. 2018;
2exs. 目撃, 7. VIII. 2018.

25. ヒメジャノメ *Mycalesis gotama fulginia*
1ex. 目撃, 2. VI. 2017.

26. クロコノマチョウ *Melanitis phedima*
oitensis
1ex. 目撃(破損), 21. IX. 2017.

③チョウ目 Lepidoptera 蛾類

7科12種確認されただけであるが, オオモモブ
トスカシバの記録が特筆される。

[記録]

マダラガ科 Zygaenidae

1. タケノホソクロバ *Artona martini*
幼虫食痕確認(アズマネザサ), 6. VII. 2017.

スカシバガ科 Sesiidae

2. オオモモブトスカシバ *Melittia sangaica*
nipponica

湘南地域では, これまで藤沢市で 1ex. 記録され
ているだけであったが, 2016 年以降茅ヶ崎市で記
録されるようになり, 当地でも 2017 年に 2exs. 確
認されている(中島・山本, 2004; 岸, 2018b)。

シャクガ科 Geometridae

3. ウメエダシャク *Cystidia couaggaria*
couaggaria
幼虫 1ex. 目撃, 11. V. 2018; 多数目撃, 5. VI. 2018.

4. シロオビフユシャク *Alsophila japonensis*
1♂目撃, 15. I. 2018(写真8)。

5. ウスミドリナミシャク *Episteira*
nigrilinearia nigrilinearia
3exs. 目撃(ブナの幹に静止), 17. VIII. 2017.

スズメガ科 Sphingidae

6. オオスカシバ *Cephonodes hylas hylas*
1ex. 目撃, 8. VIII. 2017.

7. ホシホウジャク *Macroglossum pyrrhosticta*
1ex. 目撃, 11. X. 2017.

8. セスジスズメ *Theretra oldenlandiae*
oldenlandiae
1ex. 目撃, 17. VIII. 2017; 終齢 1ex. 目撃(エノキグ
サを摂食中), 30. VIII. 2017.

9. コスズメ *Theretra japonica*

終齢 1ex. 目撃, 21. IX. 2017.

ドクガ科 *lymantriidae*10. マイマイガ *Lymantria dispar japonica*

1♂目撃, 28. VI. 2016.

10. チャドクガ *Arna pseudoconspersa*

若齢多数目撃(ツバキ), 7. VIII. 2017 ; 1♂1♀ 3exs. 目撃(1♂1♀ : 交尾中), 11. X. 2017 ; 1ex. 目撃, 24. X. 2017 ; 卵囊多数目撃(ツバキ), 5. I. 2018.

敷地内にツバキ, サザンカが多く見られたため, 本種が多く発生していた。平成 29 年度に, 発生の多かったツバキの伐採, 剪定を行ったので, 今後発生数の減少が期待される。

ヒトリガ科 *Arctiidae*12. カノコガ *Amata fortunei fortunei*

1ex. 目撃, 2. VI. 2017 ; 2exs. 目撃, 7. VIII. 2017.

ヤガ科 *Noctuidae*13. タマナギンウワバ *Autographa nigrisigna*

1ex. 目撃, 25. I. 2018.

④バッタ目 *Orthoptera*

記録されたのは, 10 科 25 種である。5,000 m²未満という小面積の割に, 生息種数は多い。敷地の北側などで耕作が行われてきたが, 少人数による粗放的管理が行われていたことで, バッタ目の生息に適した環境が維持されてきたものと思われる。また, 周辺地域に比較的まとまった草地が残されていることも, バッタ目の生息に好適な環境を提供していると判断される。

市内では分布の局所的なマツムシ, 草地環境の減少で近年減少著しいカンタンの記録が特筆される。

近年増加傾向にある, 南方系種のヒロバネカンタンも確認された。

[記録]

コオロギ科 *Gryllidae*1. エンマコオロギ *Teleogryllus emma*

終齢 3♀目撃・成虫 3♂目撃・1♂鳴き声確認, 17. VIII. 2017 ; 1♂目撃, 28. VIII. 2018.

2. ハラオカメコオロギ *Loxoblemmus campestris*

1♂鳴き声確認, 21. VIII. 2017 ; 1♂鳴き声確認, 22. IX. 2017 ; 1♂目撃・1♂鳴き声確認, 28. VIII.

2018 ; 1♂鳴き声確認, 7. IX. 2018.

3. ミツカドコオロギ *Loxoblemmus doenitzi*

3♂目撃, 17. VIII. 2017 ; 5♂1♀目撃・3♂鳴き声確認, 21. VIII. 2017 ; 1♂目撃, 8. IX. 2017 ; 1♂2♀目撃, 11. X. 2017 ; 1♂鳴き声確認, 7. VIII. 2018.

4. ツツレサセコオロギ *Velarifictorus micado*

1♂鳴き声確認, 30. VIII. 2017 ; 1♂目撃, 4. IX. 2017.

マツムシ科 *Eneopteridae*5. マツムシ *Xenogryllus marmoratus*

1♂鳴き声確認, 15. IX. 2017.

6. アオマツムシ *Truljalia hibinonis*

1♀目撃, 28. VIII. 2018 ; 1♀目撃認, 7. IX. 2018.

7. カンタン *Oecanthus longicauda*

1♂鳴き声確認, 藤間家周辺(畑地), 15. IX. 2017.

8. ヒロバネカンタン *Oecanthus euryelytra*

2♂鳴き声確認, 藤間家周辺(畑地), 15. IX. 2017. 南方系種で, 近年増加傾向にある。

ヒバリモドキ科 *trigonidiidae*9. ウスグモスズ *Amusurgus genji*

1ex. 目撃, 30. VIII. 2017.

10. マダラスズ *Dianemobius nigrofasciatus*

2♂1♀目撃・2♂鳴き声確認, 6. VII. 2017.

11. シバズ *Polionemobius mikado*

1♀目撃, 21. VIII. 2017.

カネタタキ科 *Mogoplistidae*12. カネタタキ *Ornebius kanetataki*

幼虫 1ex. 目撃, 7. VIII. 2017 ; 1♂鳴き声確認, 30. VIII. 2017 ; 1♂目撃, 4. IX. 2017 ; 1♂目撃, 28. XI. 2017 ; 4♂鳴き声確認, 7. XII. 2018.

キリギリス科 *Tettigoniidae*13. ヤブキリ *Tettigonia orientalis*

若齢 8exs. 目撃, 28. IV. 2017 ; 2♂鳴き声確認, 6. VII. 2017 ; 1♂目撃, 8. VIII. 2017 ; 幼虫 1ex. 目撃, 11. V. 2018 ; 幼虫 1♀目撃, 22. V. 2018.

14. クサキリ *Ruspolia lineosa*

2♂1♀目撃, 17. VIII. 2017 ; 1♀目撃, 27. IX. 2017.

15. クビキリギス *Euconocephalus varius*

1♀目撃, 28. IV. 2017 ; 幼虫 5exs. 目撃, 17. VIII. 2017 ; 2♂目撃(1♂ : 赤色型, 1♂ : 緑色型), 26. IX.

2017(写真7)。

体色は通常緑色型や褐色型であるが、赤色型の♂が記録された。

16. ホシササキリ *Conocephalus maculatus*

1♂目撃, 6. VII. 2017; 1♂目撃, 8. VIII. 2017.

17. ハタケノウマオイ *Hexacentrus japonicus*

1♂鳴き声確認, 15. IX. 2017.

ツユムシ科 *Phaneropteridae*

18. ツユムシ *Phaneroptera falcata*

幼虫 1ex. 目撃, 21. VIII. 2017.

19. セスジツユムシ *Ducetia japonica*

1♂目撃, 8. VIII. 2017; 幼虫 1ex. ・1♂目撃, 17. VIII. 2017; 1♂目撃, 21. VIII. 2017; 幼虫 1ex. 目撃, 14. IX. 2017.

20. サトクダマキモドキ *Holochlora japonica*

1♂目撃, 17. VIII. 2017.

ノミバッタ科 *Tridactylidae*

21. ノミバッタ *Xya japonica*

1ex. 目撃, 4. IX. 2017.

ヒシバッタ科 *Tetrigidae*

22. ヒシバッタ属の一種 *Tetrix* sp.

2exs. 目撃, 6. VII. 2017; 1ex. 目撃, 27. IX. 2017.

ハラヒシバッタと思われるが、採集して確認していないので、種名を確定できない。

オンブバッタ科 *Pygomorphidae*

23. オンブバッタ *Atactomorpha lata*

幼虫多数目撃, 6. VII. 2017; 1♂1♀目撃, 7. XII. 2018.

バッタ科 *Acrididae*

24. ショウリョウバッタ *Acrida cinerea*

幼虫多数目撃, 2. VI. 2017.

25. イボバッタ *Trilophidia japonica*

1♂目撃, 7. VIII. 2017; 2♂目撃, 17. VIII. 2017; 2♀目撃, 25. VIII. 2017; 1♀目撃, 19. IX. 2017.

⑤ゴキブリ目 *Blattodea*

ゴキブリ科 *Blattidae*

1. クロゴキブリ *Periplaneta fuliginosa*

成虫 1ex. 目撃, 9. I. 2018.

⑥カマキリ目 *Mantodea*

市街地周辺に生息する可能性のある3種が、確認

された。

カマキリ科 *Mantidae*

1. コカマキリ *Statilia maculata*

1ex. 目撃, 17. VIII. 2017; 卵鞘1目撃, 5. XII. 2017.

2. オオカマキリ *Tenodera sinensis*

幼虫 2exs. 目撃, 6. VII. 2017; 幼虫 1ex. 目撃, 7. VIII. 2017; 1ex. 目撃, 21. VIII. 2017; 卵鞘1目撃, 27. IX. 2017; 卵鞘4目撃(ハギの一種), 5. I. 2018; 幼虫 2

exs. 目撃, 22. V. 2018.

3. ハラビロカマキリ *Hierodula patellifera*

幼虫 1ex. 目撃, 7. VIII. 2017; 1♂目撃, 25. VIII. 2017; 卵鞘1目撃, 19. IX. 2017; 1♀目撃, 26. IX. 2017; 卵鞘2目撃, 5. XII. 2017.

⑦カメムシ目 *Hemiptera*

記録されたのは、9科21種である。

セミ科は敷地内で4種の発生が確認され、クマゼミも複数頭の成虫が確認されており、周辺地域で発生している可能性がある。

セミ科 *Cicadidae*

1. クマゼミ *Cryptotympana facialis*

1♂鳴き声確認, 20. VII. 2017; 1♂1ex. 目撃, 8. VIII. 2017; 2♂鳴き声確認, 17. VIII. 2017.

2. アブラゼミ *Graptopsaltria nigrofuscata*

5 ぬけがら確認, 28. IV. 2017; 2♂ぬけがら採集, 21. VII. 2017, 三谷恭子; 多数目撃, 8. VIII. 2017; 1♀ぬけがら採集, 17. VIII. 2017; 11♂6♀ぬけがら採集・1♂1♀目撃(交尾中), 21. VIII. 2017.

3. ミンミンゼミ *Hyalessa maculaticollis*

1♂ぬけがら採集, 21. VII. 2017, 三谷恭子; 1♂ぬけがら採集・3♂1♀10exs. 目撃・1♂鳴き声確認, 8. VIII. 2017; 1♀ぬけがら採集, 17. VIII. 2017.

4. ツクツクボウシ *Meimuna opalifera*

1♂鳴き声確認, 8. VIII. 2017; 1♂鳴き声確認, 17. VIII. 2017; 1♂1♀ぬけがら採集・1♂目撃・2♂鳴き声確認, 25. VIII. 2017; 2♂鳴き声確認, 28. VIII. 2018.

5. ニイニイゼミ *Platypleura kaempferi*

1 ぬけがら確認・1♂鳴き声確認, 6. VII. 2017; 1

ぬけがら確認・1ex. 目撃, 20. VII. 2017; 1♀ぬけがら採集・5exs. 目撃, 8. VIII. 2017; 1♂ぬけがら採集, 21. VIII. 2017; 1♂ぬけがら採集, 25. VIII. 2017.

グンバイウンカ科 Tropiduchidae

6. ミドリグンバイウンカ *Kallitaxila sinica*

1ex. 目撃, 21. VIII. 2017.

アオバハゴロモ科 Flatidae

7. アオバハゴロモ *Geisha distinctissima*

幼虫多数目撃, 6. VII. 2017.

ハゴロモ科 Ricaniidae

8. ベッコウハゴロモ *Orosanga japonicus*

6exs. 目撃(フジ), 28. VIII. 2018.

グンバイムシ科 Tingidae

9. アワダチソウグンバイ *Corythucha marmorata*

幼虫・成虫多数目撃(ヒマワリ), 21. VIII. 2017.

10. ヘクソカズラグンバイ *Dulinius conchatus*

幼虫 3exs. 目撃, 7. VIII. 2017; 幼虫・成虫多数目撃, 25. VIII. 2017.

1996 年に初めて国内で発見された外来種(友国, 2014)で, 名前のとおりヘクソカズラを宿主とする。

サシガメ科 Reduviidae

11. アカサシガメ *Cydnocoris russatus*

幼虫 1ex. 目撃, 4. VIII. 2017; 幼虫 2exs. 目撃, 7. VIII. 2017; 1ex. 目撃, 25. VIII. 2017; 1ex. 目撃, 26. IX. 2017; 1ex. 目撃, 11. V. 2018; 1ex. 目撃, 22. V. 2018; 1ex. 目撃, 28. VIII. 2018.

1990 年代まで市内では稀な種であった(林・岸, 2002)が, 近年増加し, 珍しい種ではなくなった。

12. ヤニサシガメ *Velinus nodipes*

終齢 1ex. 目撃, 5. XII. 2017.

ヒゲナガカメムシ科 Pachygronthidae

13. ヒゲナガカメムシ *Pachygrontha antennata*

1♂目撃, 22. IX. 2017; 1ex. 目撃, 7. XII. 2018.

ヘリカメムシ科 Coreidae

14. ホオズキヘリカメムシ *Acanthocoris sordidus*

幼虫 1ex.・成虫多数目撃(アサガオ), 21. VIII. 2017.

15. ホソハリカメムシ *Cletus punctiger*

4exs. 目撃, 28. IV. 2017; ; 多数目撃, 6. VII. 2017.

16. ホシハラヒロヘリカメムシ *Homoeocerus*

unipunctatus

1ex. 目撃, 28. IV. 2017.

17. ツマキヘリカメムシの一種 *Hygia* sp.

2♂2♀目撃, 6. VII. 2017.

採集していないため, ツマキヘリカメムシ, オオツマキヘリカメムシのいずれか, 特定できていない。

カメムシ科 Pentatomidae

18. ウシカメムシ *Alcimocoris japonensis*

3exs. 目撃, 28. VIII. 2018(写真 9).

19. ナガメ *Eurydema nugosa*

1♂目撃, 17. VIII. 2017.

20. ツヤアオカメムシ *Glaucias subpunctatus*

1ex. 目撃, 28. IV. 2017.

21. クサギカメムシ *Halymorpha halys*

幼虫 1ex. 目撃, 17. VIII. 2017.

22. エビイロカメムシ *Gonopsis affinis*

1ex. 目撃(オギ), 2. VI. 2017.

ツノカメムシ科 Acanthosomatidae

23. セアカツノカメムシ *Acanthosoma denticaudum*

1♂目撃, 17. VIII. 2017.

⑧コウチュウ目 Coleoptera

記録されたのは, 9 科 22 種である。ベニバハナカミキリ, 南方系種ヨツモンカメノコハムシの記録が特筆される。

オサムシ科 Carabidae

1. トウキョウヒメハンミョウ *Cicindela kaleea*

yedoensis

2♂2♀9exs. 目撃, 6. VII. 2017.

クワガタムシ科 Lucanidae

2. コクワガタ *Dorcus rectus rectus*

1♀死体目撃, 7. VIII. 2017; 1♂目撃, 7. VIII. 2018.

コガネムシ科 Scarabaeidae

3. アオドウガネ *Anomala albopilosa albopilosa*

1ex. 目撃, 21. IX. 2017.

4. カブトムシ *Trypoxylus dichotomus*

septentrionalis

1♂目撃(シダレヤナギ樹液を吸汁中), 21. VIII.

2017.

5. クロカナブン *Rhomborrhima polita*

1ex. 目撃, 21. VIII. 2017; 1ex. 目撃, 25. VIII.

2017.

6. ヒラタハナムグリ *Nipponovalgus**angusticollis*

1ex. 目撃, 27. IV. 2018.

ホタル科 Lampyridae

7. ムネクリイロボタル *Cyphonocerus ruficollis*

3exs. 目撃, 11. V. 2018.

テントウムシ科 Coccinellidae

8. アカホシテントウ *Chilocorus rubidus*

2exs. 目撃, 28. VIII. 2018.

9. ナナホシテントウ *Coccinella septempunctata*

1ex. 目撃, 28. IV. 2017.

10. ナミテントウ *Harmonia axyridis*

1ex. 目撃, 2. VI. 2017.

11. ダンダラテントウ *Menochilus sexmaculatus*

1ex. 目撃, 8. XI. 2017.

ゴミムシダマシ科 Tenebrionidae

12. ヒゲブトハムシダマシ *Luprops orientalis*

1ex. 目撃, 26. IX. 2017.

カミキリムシ科 Cerambycidae

13. ベニバハナカミキリ *Paranaspia anaspoides*

1♀採集, 2. VI. 2017(写真 10).

市内では未記録だった種類で、上記の他甘沼、小和田で未発表の記録が得られているに過ぎない(岸、未発表; 緒方隆氏私信)。ケヤキ、ムクノキ、カエデなどの樹洞に生息する種類で、本種が生息するためには樹洞が形成される古木の存在が必要となる。

14. ヨツスジトラカミキリ *Chlorophorus**quiquefasciatus*

1ex. 目撃, 3. VIII. 2018.

15. ホシベニカミキリ *Eupromus ruber*

1ex. 目撃, 2. VI. 2017.

16. キクスイカミキリ *Phytoecia rufiventris*

5exs. 目撃(イエギク), 28. IV. 2017.

ハムシ科 Chrysomelidae

17. ヨツモンカメノコハムシ *Lacoptera**nepalensis*

本種は 1990 年代以降国内で北上を続けており、県内では 2016 年に初めて記録された(宮谷, 2018)。当地でも、2017 年以降発生が確認されている(岸、未発表)。

18. ヤナギルリハムシ *Plagiodera versicolora*

5exs. 目撃(シダレヤナギ), 28. IV. 2017; 幼虫・成虫多数目撃(シダレヤナギ), 2. VI. 2017.

19. ヨモギハムシ *Chrysolina aurichalcea*

2exs. 目撃, 28. IV. 2017.

20. ウリハムシ *Aulacophora indica*

2exs. 目撃, 28. III. 2017; 1ex. 目撃, 5. VI. 2018.

21. イモサルハムシ *Colasposoma dauricum*

1ex. 目撃, 2. VI. 2017; 1ex. 目撃, 5. VI. 2018.

ゾウムシ科 Cuculionidae

22. コフキゾウムシ *Eugnathus distinctus*

1ex. 目撃, 28. IV. 2017.

⑨ハチ目 Hymenoptera

記録されたのは、8 科 14 種である。

クモバチ科 Pompilidae

1. ツマアカクモバチ *Tachypompilus analis*

1ex. ・死体 1ex. 目撃, 8. VIII. 2017; 2exs. 目撃, 30. VIII. 2017; 1ex. 目撃, 19. IX. 2017; 1ex. 目撃, 24. VIII. 2018.

南方系種で以前は市内で確認できなかったが、近年増加傾向にある。主にアシダカグモを狩り、幼虫のエサとする。

ツチバチ科 Scoliidae

2. オオモンツチバチ *Scolia histrionica**japonica*

1ex. 目撃, 17. VIII. 2017.

3. ヒメハラナガツチバチ *Campsomeriella**annulata annulata*

1♂目撃, 6. VII. 2017.

スズメバチ科 Vespidae

4. オオフトオビドロバチ *Anterhynchium**flavomarginatum micado*

1ex. 目撃, 2. VI. 2017; 2exs. 目撃, 6. VII. 2017; 1ex. 目撃, 7. VIII. 2017.

5. キボシトックリバチ *Eumenes fraterculus*

1ex. 目撃, 21. VIII. 2017.

6. スズバチ *Oreumenes decoratus*

1ex. 目撃, 22. IX. 2017.

7. セグロアシナガバチ *Polistes jokahamae*
jokahamae

2exs. 目撃, 2. VI. 2017 ; 2exs. 目撃, 6. VII. 2017.

8. キアシナガバチ *Polistes rothneyi iwatai*
1ex. 目撃, 7. VIII. 2017.

9. コガタスズメバチ *Vespa analis insularis*
3exs. 目撃, 6. VII. 2017 ; 1ex. 目撃, 7. VIII. 2017 ;
巣1確認(ベニバナトキワマンサクの生垣に営巣),
8. VIII. 2017.

10. ヒメスズメバチ *Vespa ducalis pulchra*
1ex. 目撃, 17. VIII. 2017 ; 1ex. 目撃, 22. IX. 2017.

アナバチ科 Sphecidae

11. クロアナバチ *Sphex argentatus fumosus*
1ex. 目撃, 17. VIII. 2017 ; 1ex. 目撃, 21. VIII.
2017.

ハキリバチ科 Megachilidae

12. オオハキリバチ *Megachile sculpturalis*
1ex. 目撃, 21. VIII. 2017 ; 1ex. 目撃, 4. IX. 2017.

ミツバチ科 Apidae

13. キムネクマバチ(クマバチ) *Xylocopa*
appendiculata circumvolans
1ex. 目撃, 28. IV. 2017 ; 1ex. 目撃, 2. VI. 2017 ;
1ex. 目撃(モッコクの枯れ枝で営巣), 11. V. 2018.

ヒメバチ科 Ichneumonidae

14. アゲハヒメバチ *Holcojoppa mactator*
1ex. 目撃, 7. VIII. 2017.

⑩ハエ目 Diptera

記録されたのは, 6 科 8 種である。

ガガンボ科 Tipulidae

1. ホリカワクシヒゲガガンボ *Pseliophora*
bifascipennis
1ex. 目撃, 30. VIII. 2017.

ケバエ科 Bibionidae

2. ハグロケバエ *Bibio tenebrosus*
1♂目撃, 28. IV. 2017.

ミズアブ科 Stratiomyidae

3. アメリカミズアブ *Hermetia illucens*

1ex. 目撃, 6. VII. 2017.

北米・中米原産の外来種である。

ツリアブ科 Bombyliidae

4. コウヤツリアブ *Anthrax aygulus*

1ex. 目撃, 17. VIII. 2017 ; 1ex. 目撃, 21. VIII. 2017
; 1ex. 目撃, 21. IX. 2017 ; 1ex. 目撃, 28. VIII. 2018.

ムシヒキアブ科

5. アオメアブ *Cophinopoda chinensis*
1ex. 目撃, 6. VII. 2017.

6. シオヤアブ *Promachus yesonicus*
1♀目撃, 6. VII. 2017 ; 1♀目撃, 17. VIII. 2017.

7. ナミマガリケムシヒキ *Neoitamus*
angusticornis
1ex. 目撃, 6. VII. 2017.

ハナアブ科 Syrphidae

8. オオハナアブ *Phytomia zonata*
1ex. 目撃, 21. IX. 2017.

⑪ハサミムシ目 Dermaptera

1. ハマベハサミムシ *Anisolabis maritima*
1ex. 目撃, 22. IX. 2017 ; 1ex. 目撃, 11. X. 2017.

2) クモ類

記録されたのは, 5 科 9 種である。

アシナガグモ科 Tetragnathidae

1. オオシロカネグモ *Leucauge magnifica*
1♀目撃, 2. VI. 2017.

ジョロウグモ科 Nephilidae

2. ジョロウグモ *Nephila clavata*
幼体 1ex. 目撃, 2. VI. 2017 ; 幼体多数目撃, 6. VII.
2017 ; 15♀・1 卵囊目撃, 5. I. 2018 ; 8♀目撃,
9. I. 2018 ; 2♀目撃, 18. I. 2019.

温暖化により, 近年は年を越して生き残る♀が普通に見られるようになった。当地でも, 1月中旬の記録が得られている。

コガネグモ科 Araneidae

3. ナガコガネグモ *Argiope bruennichi*
1♀目撃, 21. VIII. 2017 ; 幼体 1♀・成体 1♂目撃,
25. VIII. 2017.

4. ギンメッキゴミグモ *Cyclosa argenteoalba*
1ex. 目撃, 28. IV. 2017.

5. ゴミグモ *Cyclosa octotuberculata*

1ex. 目撃, 2. VI. 2017.

6. マルゴミグモ *Cyclosa vallata*

1ex. 目撃, 17. VIII. 2017 ; 2exs. 目撃, 28. VIII. 2018.

アシダカグモ科 Sparassidae

7. アシダカグモ *Heteropoda venatoria*

成体 1ex. 目撃, 7. VIII. 2017.

クモを苦手とする人にとっては不快な動物ともなるが、ゴキブリなどの衛生害虫を捕食する“益蟲”である。

ハエトリグモ科 Salticidae

8. マミジロハエトリ *Evarcha albaria*

1ex. 目撃, 30. III. 2017 ; 4♂1♀目撃, 28. IV. 2017.

9. アダンソンハエトリ *Hasarius adansoni*

1♂目撃, 21. VIII. 2017.

もともと本州南部以南に分布し、市内ではあまり見られなかったが、近年、より北の地域に分布を拡大し、市内でも家屋周辺で普通に見られる種となっている。フランス人博物学者ミシェル・アダンソンにちなみ、和名と種小名に「アダンソン」が使われている。

3) 甲殻類

ベンケイガニ科 Sesamidae

1. アカテガニ *Chiromantes haematocheir*

1 個体目撃, 7. VIII. 2017 ; 1♀目撃(卵を抱く), 8. IX. 2017(写真 11)。

本種は、サワガニを除く他のカニ類と同様に海に下って産卵する。本種の生息は、当地から小出川、相模川、相模湾に至るまで、移動ルートが確保されていることを示している。

4) 爬虫類

記録されたのは2科2種で、ヒガシニホントカゲやヘビ類は確認されていない。

ヤモリ科 Gekkonidae

1. ニホンヤモリ *Gekko japonicus*

成体 1 個体目撃, 5. I. 2018.

種小名に japon(日本)が使用されているが、ユーラシア大陸原産の外来種と考えられている。

カナヘビ科 Lacertidae

2. ニホンカナヘビ *Takydromus tachydromoides*

1 個体目撃, 28. IV. 2017 ; 3 個体目撃, 6. VII. 2017 ; 幼体 2 個体目撃, 25. VIII. 2017 ; 幼体 1 個体目撃, 24. X. 2017 ; 成体 1 個体目撃, 7. XII. 2018 ; 1 死体目撃(はやにえ), 7. XII. 2018, 白澤礼子。

5) 鳥類

記録されたのは、19 科 24 種である。

ウ科 Phalacrocoracidae

1. カワウ *Phalacrocorax carbo*

1 羽目撃, 26. I. 2018.

サギ科 Ardeidae

2. ゴイサギ *Nycticorax nycticorax*

幼鳥 1 羽目撃, 15. XII. 2017.

タカ科 Accipitridae

3. ミサゴ *Pandion haliaetus*

1 羽目撃(上空を飛翔), 26. I. 2018.

4. トビ *Milvus migrans*

1 羽目撃, 28. III. 2017 ; 1 羽目撃, 17. VIII. 2017.

ハト科 Columbidae

5. キジバト *Streptopelia orientalis*

2 羽目撃, 28. III. 2017 ; 1 羽目撃, 2. VI. 2017 ; 1 羽目撃, 6. VII. 2017.

アマツバメ科 Apodidae

6. ヒメアマツバメ *Apus nipalensis*

1 羽目撃, 30. VIII. 2017.

キツツキ科 Picidae

7. コゲラ *Dendrocopos kizuki*

1 羽目撃, 28. III. 2017 ; 1 羽目撃(水浴び), 5. VI. 2017 ; 鳴き声 1 確認, 19. IX. 2017.

セキレイ科 Motacillidae

8. ハクセキレイ *Motacilla alba*

1 羽目撃, 15. XII. 2017 ; 1 羽目撃, 7. XII. 2018.

ツバメ科 Hirundinidae

9. ツバメ *Hirundo rustica*

1 羽目撃, 30. III. 2017 ; 1 羽目撃, 6. IV. 2017 ; 1 羽目撃, 2. VI. 2017.

ヒヨドリ科 Pycnonotidae

10. ヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis*

2羽目撃, 28. III. 2017 ; 2羽目撃, 6. VII. 2017 ;
11羽目撃, 25. I. 2018.

ウグイス科 *Cettidae*11. ウグイス *Cettia diphone*

鳴き声1確認(地鳴き), 10. XI. 2017 ; 鳴き声1確認(地鳴き), 29. III. 2018.

ヒタキ科 *Muscicapidae*12. ジョウビタキ *Phoenicurus aureus*

1♀目撃, 28. III. 2017 ; 1♀目撃, 10. XI. 2017 ;
鳴き声1確認, 28. XI. 2017.

13. アカハラ *Turdus chrysolaus*

1羽目撃, 30. I. 2018.

14. ツグミ *Turdus naumanni*

1羽目撃, 28. III. 2017 ; 1羽目撃, 28. IV. 2017 ;
鳴き声1確認, 25. XII. 2017 ; 1羽目撃, 26. I. 2018 ;
1羽目撃, 13. II. 2018.

シジュウカラ科 *Paridae*15. シジュウカラ *Parus minor*

1羽目撃, 28. IV. 2017 ; 1羽目撃, 6. VII. 2017 ; 2
羽目撃, 24. X. 2017 ; 1羽目撃, 28. VIII. 2018 ; 2羽目
撃, 7. XII. 2018.

メジロ科 *Zosteropidae*16. メジロ *Zosterops japonicus*

5羽目撃, 30. III. 2017 ; 2羽目撃, 24. X. 2017 ; 2
羽目撃(フユザクラの花を吸蜜), 25. XII. 2017 ; 鳴き
声1確認, 9. I. 2018.

ホオジロ科 *Emberizidae*17. アオジ *Emberiza spodocephala*

2羽目撃, 25. I. 2018.

アトリ科 *Fringillidae*18. シメ *Coccothraustes coccothraustes*

鳴き声1確認, 17. III. 2017 ; 1羽目撃, 15. I. 2018.

スズメ科 *Passeridae*19. スズメ *Passer montanus*

3羽目撃, 28. IV. 2017 ; 1羽目撃, 2. VI. 2017.

ムクドリ科 *Sturnidae*20. ムクドリ *Spodiopsar cineraceus*

1羽目撃, 17. III. 2017 ; 7羽目撃, 30. III. 2017 ;
1羽目撃, 6. VII. 2017 ; 1羽目撃, 21. VIII. 2017.

モズ科 *Laniidae*21. モズ *Lanius bucephalus*

1♂目撃(高鳴き), 14. IX. 2017 ; 1羽目撃, 11. X.
2017 ; 1羽目撃, 24. X. 2017 ; 鳴き声1確認, 10.
XI. 2017 ; 1♂目撃, 15. XII. 2017 ; 1♂目撃, 8.
II. 2018 ; 1♀目撃, 13. II. 2018.

カラス科 *Corvidae*22. オナガ *Cyanopica cyanus*

3羽目撃, 30. III. 2017 ; 3羽目撃, 6. IV. 2017 ; 1
羽目撃, 30. VIII. 2017 ; 10羽目撃, 15. I. 2018 ; 1羽
目撃, 7. IX. 2018.

23. ハシボソガラス *Corvus corone*

鳴き声2確認, 17. VIII. 2017.

24. ハシブトガラス *Corvus macrorhynchos*

鳴き声1確認, 17. VIII. 2017.

6) 哺乳類

記録されたのは、アズマモグラ(モグラ塚)のみで
ある。

モグラ科 *Talpidae*1. アズマモグラ *Mogera imaizumii*

モグラ塚確認, 18. I. 2019.

7 ニッケイ太径木の測量

敷地内に、ニッケイ(クスノキ科)の太径木が1本
見られる(写真12)。樹高等が不明だったので、下記
のとおり測量を実施した。

1) 調査日 平成29年(2017年)4月6日(木)

2) 調査者 社会教育課 富永富士雄・岸一弘(当時)

3) 調査方法

樹高については TOPCON 社製のセオドライト
TD1100 を使って測量し、幹回りについてはロングメ
ジャーを用いて測った。

4) 調査結果

①樹高

角度 $\alpha : 26^{\circ} 39' 40'' = 26.661^{\circ}$

セオドライトーニッケイ間の距離 $X = 26.55\text{m}$

$\alpha \tan X = 13.33\text{m}$

測定高 : 142.7 cm

樹高 : 14.757m

②幹回り : 244 cm 直径 : 77.7 cm

ニッケイはインドシナ原産の常緑広葉樹であるが、国内各地に植栽されている。高木に区分されるが、タブノキ、クスノキほど大きくならず、成長しても樹高 10~15m とされる。野崎(1990)や藤間克子氏のご教示によれば、藤間家宅には敷地西側にもう 1 本、本種の太径木が存在していた。野崎(1990)では「高さ 10.50m」と記載されている。現存していれば今回測量した株よりも高くなっていた可能性があるが、伐採されたとのことである。

野崎(1990)では下寺尾や堤の太径木も紹介されているが、いずれも現存していない。藤間家に現存している株は、市内に見られるニッケイの太径木としては唯一のもので、本種としては最大級の株と考えられる。

おわりに

公有地化された当地は、近接する柳島八幡宮と合わせ、柳島地区では将来にわたり担保された緑地として貴重である。樹林性・草地性の動植物の生息・生育地として機能しているだけでなく、渡り鳥の中継地として機能している可能性もある。

在来の生物が多く見られる一方で、植栽されたオオキバナカタバミ、ミツバオオハンゴンソウ、ヒメヒオウギズイセン、シンテッポウユリなどが増加する懸念がある。現在、地域で活動する「柳島いまむかし会」の方々や市社会教育課職員により地域の生物相に配慮した管理が実施されているが、今後も、生物多様性に配慮した管理が継続されることが望まれる。

トンボ目、蝶類以外の昆虫類など動物の調査精度は高くない。今後の継続調査で、当地の動物相がより明らかとなることが期待される。

謝辞

当地敷地図の使用をご許可いただくとともに種々ご教示いただいた藤間克子氏、ニッケイ太径木の測量を主導していただいた富永富士雄氏、シロオビフユシャクの同定確認をしていただいた横田光邦氏、ベニバハナカミキリの記録についてご教示い

ただいた緒方 隆氏、原稿をチェックしていただくと共に調査にご協力いただいた三谷恭子氏、調査にご協力いただいた白澤礼子氏に感謝申し上げます。

参考文献

- 長谷川義人, 2018. ニシキギ科. 神奈川県植物誌調査会編, 神奈川県植物誌 2018 (下) pp. 928-935. 神奈川県植物誌調査会, 小田原.
- 林 正美・岸 一弘, 2002. 茅ヶ崎の異翅目(異翅半翅類). 文化資料館調査研究報告, (10):1-12.
- 平塚市博物館, 2001. 湘南植物誌 VI. 平塚市博物館資料 50:194pp. 平塚市博物館.
- 神奈川昆虫談話会編, 2018. 神奈川県昆虫誌 2018, 1038pp. 神奈川昆虫談話会, 小田原.
- 岸 一弘, 2018a. 2017 年に神奈川県で記録されたウスバキトンボ. 2017 年のアキアカネとウスバキトンボの調査報告書:50-52. 特定非営利活動法人ノア, 埼玉.
- 岸 一弘, 2018b. 茅ヶ崎市におけるオオモモブトスカシバの記録. 神奈川虫報, (196):68.
- 中島秀雄・山本光人, 2004. チョウ目(ガ類). 神奈川県昆虫誌, pp. 907-1158. 神奈川昆虫談話会, 小田原.
- 野崎 薫, 1990. ふるさとの緑をたずねて. 144pp. 自費出版.
- 宮谷秀明, 2018. 横浜市に侵入したヨツモンカメノコハムシの発生状況及び食草について. 神奈川虫報, (196):1-4.
- 友国雅章, 2014. 皇居のカメムシ類(昆虫綱:半翅目). 国立科学博物館専報, (50), pp. 359-369.

^註市指定史跡「藤間家(近世商家)屋敷跡」の面積は、2013(平成 25)年 3 月の指定時には 4,674.77 m²とされていた。しかし、2018(平成 29 年)7 月に史跡の大部分が藤間家より茅ヶ崎市へ寄付される際に行われた測量の結果、地積の錯誤が認められた。これより、同月に史跡の所有者変更と合わせてその面積が 4,843.51 m²に修正された。

*景観みどり課(前社会教育課)

表 1. 藤間家の植物(MSP ゴシック:在来種 MS 明朝:外来種)

科名	種名
トクサ科	スギナ
メシダ科	イヌワラビ
アサ科	ムクノキ、エノキ、カナムグラ
ニレ科	ケヤキ
クワ科	イヌビワ、ヤマグワ
タデ科	ミズヒキ、ギシギシ
スベリヒユ科	スベリヒユ
ナデシコ科	オランダミミナグサ、コハコベ
ヒユ科	ヒナタイノコヅチ
クスノキ科	タブノキ、シロダモ
キンボウゲ科	コボタンヅル
アケビ科	ミツバアケビ
ツツラフジ科	アオツツラフジ
ドクダミ科	ドクダミ
ケシ科	ムラサキケマン、ナガミヒナゲシ
アブラナ科	ナズナ
バラ科	ヘビイチゴ
マメ科	ヤハズエンドウ、フジ、タンキリマメ
カタバミ科	イモカタバミ、カタバミ、オッタチカタバミ
フウロソウ科	アメリカフウロ、ゲンノショウコ
トウダイグサ科	エノキグサ、トウダイグサ、アカメガシワ
ミカン科	カラスザンショウ
モチノキ科	イヌツゲ、モチノキ
ニシキギ科	モクレイシ
ブドウ科	ノブドウ、ヤブカラシ、ツタ、エビヅル
スマレ科	タチツボスミレ、スミレ、ヒメスミレ
ウリ科	キカラスウリ
ミズキ科	アオキ
ウコギ科	ヤツデ、キヅタ
セリ科	ミツバ、オヤブヅラミ
アカネ科	ヤエムグラ、ヘクソカズラ
ヒルガオ科	コヒルガオ、マメアサガオ、アサガオ
ムラサキ科	ハナイバナ、キュウリグサ
オオバコ科	ツタバウンラン、タチイヌノフグリ、フラサバソウ、ムシクサ、オオイヌノフグリ、オオバコ
シソ科	キランソウ、ホトケノザ、ヒメオドリコソウ
ナス科	クコ、ヒヨドリジョウゴ
スイカズラ科	スイカズラ
クク科	ブタクサ、ヨモギ、コセンダングサ、トキンソウ、オオアレチノギク、マメカミツレ、ヒメジョオン、チチコグサモドキ、ハハコグサ、チチコグサ、ウラジロチチコグサ、ブタナ、セイタカアワダチソウ、オニノゲシ、ノゲシ、ハルジオン、セイヨウタンポポ、カントウタンポポ、オニタビラコ
ヒガンバナ科	ノビル
ユリ科	ヤブラン、ジャノヒゲ
イネ科	メリケンカルカヤ、イヌムギ、メシバ、イヌビエ、カモジグサ、チガヤ、オギ、ケチヂミザサ、イチゴツナギ属の一種、スズメノカタビラ、オオスズメノカタビラ、キンエノコロ、エノコログサ、ギョウギシバ、アズマネザサ
サトイモ科	カラスビシャク
カヤツリグサ科	マスクサ、ヤワラスゲ、コゴメガヤツリ、ハマスゲ、ノゲヌカスゲ
ツユクサ科	ツユクサ、トキワツユクサ
ラン科	ネジバナ



写真 1. 屋敷林の名残のタブノキ.



写真 4. 沿岸地域に分布するタンキリマメ.



写真 2. 敷地北西部に生育するオギ.



写真 5. 敷地北東部に群生するチガヤ.



写真 3. 花を付けたモクレイシ.



写真 6. 市の南部では稀なコムスジ.



写真 7. クビキリギス赤色型み.



写真 10. 市内では未記録だったベニバハナカミキリ.



写真 8. 冬に出現するシロオビフユシャク.



写真 11. 卵を抱くアカテガニ♀.

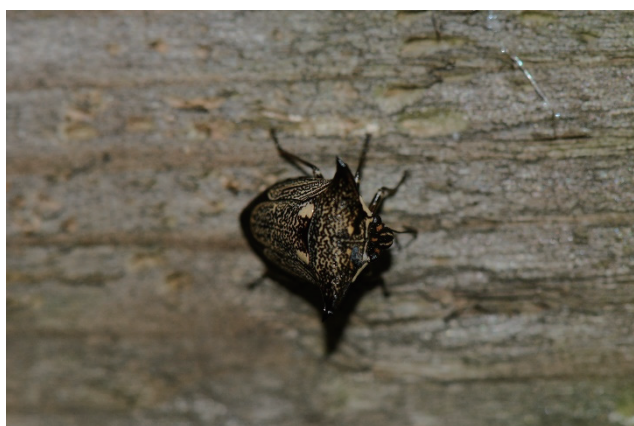


写真 9. 近年増加傾向にあるウシカメムシ.



写真 12. ニッケイの太径木.